

多汗症・わきがの治療法

多汗症の治療法

① 外用剤（保険適応）

わきの汗 ▶ エクロック[®]ゲル5%、ラピフォート[®]ワイプ
手のひらの汗 ▶ アポハイド[®]ローション

汗は、エクリン汗腺において、交感神経から出るアセチルコリンが汗腺を刺激することで分泌されます。

上記の薬剤は、ともにこのアセチルコリンによる刺激をブロックして過剰に出る汗を止める働きがあります。

- ★いずれの薬剤も、1日1回の使用で、最低2週間お試しください。
- ★口渇、羞明（まぶしく感じる・目がかすむ）、尿の出が悪いなどの異常を感じた場合は使用を中止してください。
- ★アルコール過敏症、妊娠・授乳中の方は使用できません。



② BOTOX 注射（自費 ¥39,000）

ボツリヌス菌毒素が、交感神経の末端で発汗を促進させているアセチルコリンという伝達物資を抑制し、汗を出にくくします。

麻酔クリームを塗って片わき50カ所ほど注射をします。
効果の持続は約半年です。

③ INFINI HYBRID（高周波治療）（自費 ¥37,000/回）

高周波で汗腺を変性させます。症状によりませんが、2、3か月ごとに、2～6回施術をします。数年間効果が持続します。

④ プロバンサインの内服（保険適応）

大事な場面で汗をかきたくない！という日に内服します。

汗を止めたい30分～1時間前（できれば空腹時）に1～2錠内服すると、3～4時間全身の発汗を抑制できます。

緑内障、前立腺肥大、心疾患のある方は内服できません。

のどの渇き、顔のほてり、頭痛、便秘といった副作用があるので長期内服はお勧めしません。

夏は熱中症になる可能性があるため、十分水分を摂取してください。



上記①～④は多汗症の治療です。

発汗量を減らすと臭いも減る傾向にあるので、わきがにも効果が期待できます。

わきがの治療法

① 女子なら脱毛レーザーも試す価値あり（自費¥6,300/回）

毛穴に溜まった汗を常在菌が分解することにより臭いが発生します。脱毛レーザーで毛をなくすことで毛穴が退化すると、汗が毛穴に溜まらなくなるため、臭いも減ります。

② アポクリン腺を切除する手術 （保険適応 3割負担で約¥42,000）

日帰り手術ですが、片わきにつき約1時間半かかります。

術後は、丸めたガーゼをわきに縫い付けた状態で、約1週間過ごさなくてはなりません。

その間は、ひじから先しか動かすことができず、入浴も腰から下のみになりますので、かなりの覚悟と準備が必要です。

また、片わきにつき、5～6cm長さの傷痕が2本ずつ残ります。



予約はHPから、またはお電話でもお受けしております。

ホームページ <http://yanoclinic.jp>

予約専用フリーダイヤル 0800-200-4371